

空き家等活用についての市民ニーズに関するアンケート調査の結果

空き家等活用についての市民ニーズに関するアンケート調査
ご協力をお願いいたします

※本アンケート調査は、調査期間中に「アンケート調査結果を公開しない」という回答から調査結果を公開しない場合があります。また、アンケート調査結果を公開しない場合は、調査結果についておおよその傾向のみを掲載させていただきます。

※本アンケート調査は、調査期間中に「アンケート調査結果を公開しない」という回答から調査結果を公開しない場合があります。また、アンケート調査結果を公開しない場合は、調査結果についておおよその傾向のみを掲載させていただきます。

※本アンケート調査は、調査期間中に「アンケート調査結果を公開しない」という回答から調査結果を公開しない場合があります。また、アンケート調査結果を公開しない場合は、調査結果についておおよその傾向のみを掲載させていただきます。

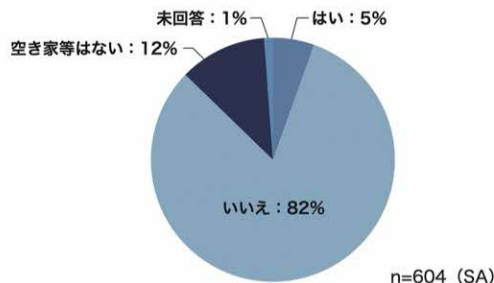
【アンケート調査の概要】

- 調査期間：8月23日～10月21日
- 調査方法：ポスト投函・郵送回収・Googleフォーム

調査対象	配布戸数	回答数*	回収率
桜町商店街エリア	250世帯	59件	23.6%
本納エリア	250世帯	40件	16.0%
中の島エリア	700世帯	122件	約17.4%
駅近住宅エリア	800世帯	146件	約18.3%
緑ヶ丘エリア	1000世帯	237件	23.7%
合計	3000世帯	604件	約21.2%

*1世帯につき2件の調査票を配布した。ここでは、世帯数ではなく回収した全調査票数とする。また、Googleフォームでの回答数を含む。

■空き家等が近所にある場合、現状のままで良いと思いませんか



■自由記述欄（抜粋）

空き家等活用への意見

- 駐車スペースが心配
- 車が停めやすい環境が整うと良い
- 活用により、治安や環境悪化があると困る
- 移住者との生活感が違うため、ゴミや音が心配
- 自治会にも入らず、ゴミ清掃をしない移住者が多いため、新しい人を受け入れ難い

空き家等の不満

- 先日町内の大掃除の際に空き家が問題になった
- 空き地の草刈り等もうまく考えて欲しい
- 近所に迷惑かけるため、なんとかしてほしい
- 朽ちて危険な空き家が多い
- 解体できていない老朽化した空き家が多いことが問題
- 空き家が多すぎるため、防災面・防犯面で危険を感じる

税金投資への意見

- 税金が良くなる仕組みを考えてから税金を使ってほしい
- 支援の範囲による
- 形だけで終わらないよう、きちんと器を作って欲しい
- 私的財産に対し、公平性という大義のため税金が使われるのは安易で不公平
- 一部の人達だけへの補助は反対
- 支援先を限定するのは良くない
- 基本的に賛成だが、市内のリフォーム業者・不動産業者を利用することを条件にするなど、利益を生むモデルにすべき
- 市だけでは中途半端になりかねないため、国の補助金も利用して欲しい
- 移住・個人の店舗なら、不公平・上手く収入が得られるとも限らないため、貸与でいいと思う
- 営利目的なら反対

住環境全般の不満

- 駅前が寂しすぎる
- 小さい子供連れで気軽に立ち寄れる場所が少ない

その他意見

- 車道、歩道、駐車場の整備から
- 茂原市は住みやすいが認知度が低いのが課題
- 自治体の意向を知りたい
- 民間協力が必要
- 移住者支援者を積極的に
- まずは人口を増やす市政を期待

■その他の意見（抜粋）

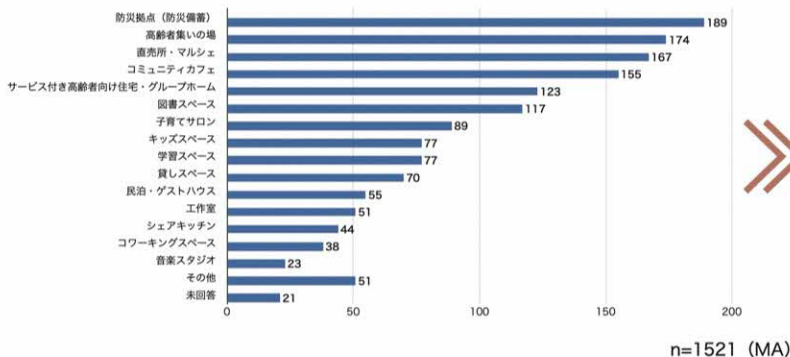
- レンタルスペース
- 若い移住者向けの施設
- 駐車場が確保できれば良い
- 小さな店舗は長続きしない
- 小江戸川越のように
- 定住者を増やせるよう住宅地として開発
- ゴルフ場
- 若い人の起業のための施設
- 高齢者施設があると、高齢者が移住しやすい

〈用途別に比較して〉

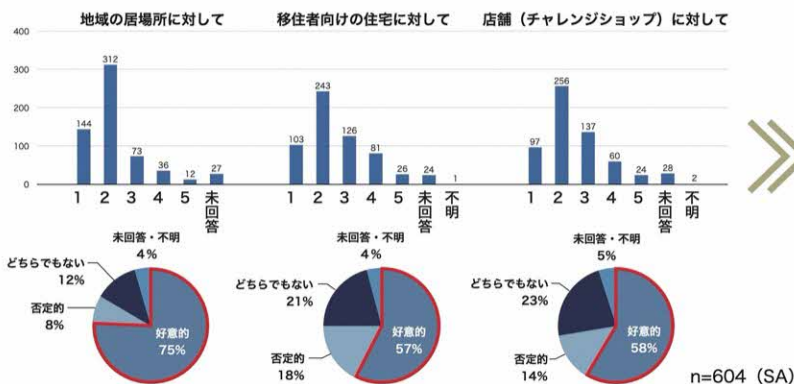
全体的に空き家等を活用するにあたって補助金(税金)を使うことに対して好印象だが、用途別に見ると「地域の居場所」に対して「移住向け住宅」や「店舗(チャレンジショップ)」に関しては否定的な意見が多く見られた。

※左の円グラフにおける表現は、
 ・好意的 = 1・2を選択した人
 ・否定的 = 4・5を選択した人
 ・どちらでもない = 3を選択した人
 であり、その結果を割合として表示したものである。

■空き家等を地域の居場所として活用する場合の用途希望

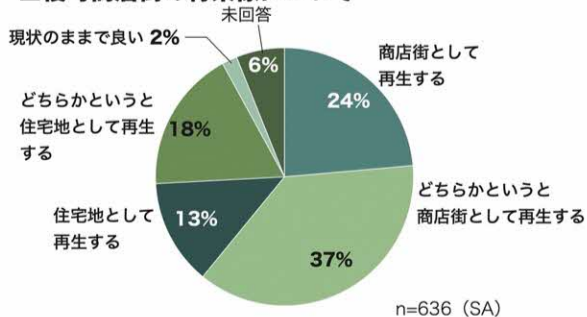


■補助金 (税金) を使うことに対する考え (用途別) 評価方法 1：とても良い 2：良い 3：どちらでもない 4：あまり良くない 5：良くない

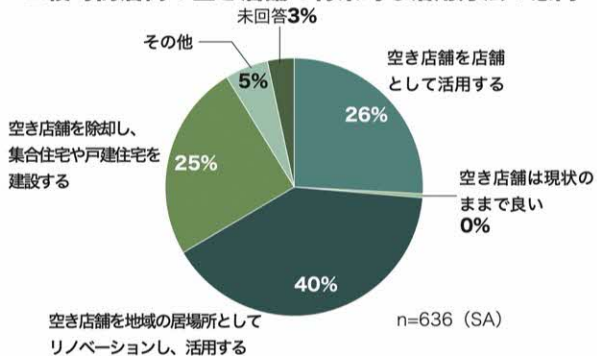


榎町商店街に関する市民アンケート調査の結果

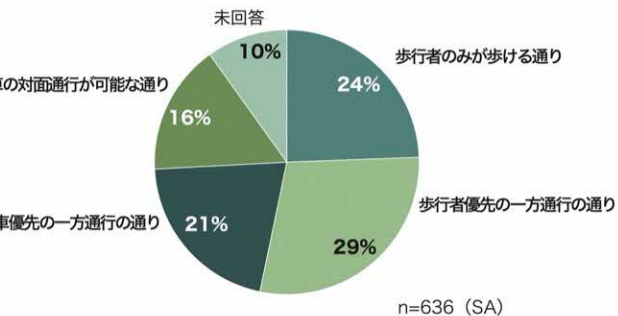
■榎町商店街の将来像について



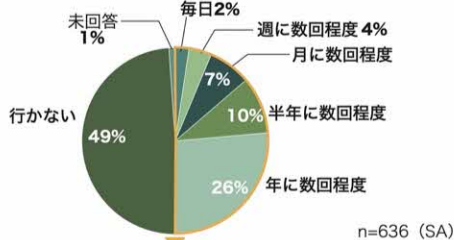
■榎町商店街の空き店舗の将来的な活用方法の意向



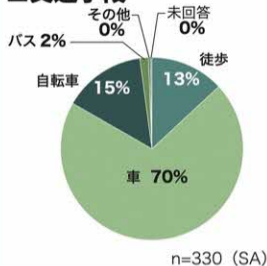
■榎町商店街のメインストリート（榎町通り）はどうあるべきだと思いますか？



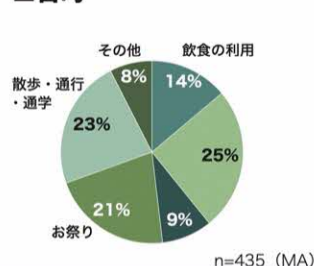
■榎町商店街に行く頻度



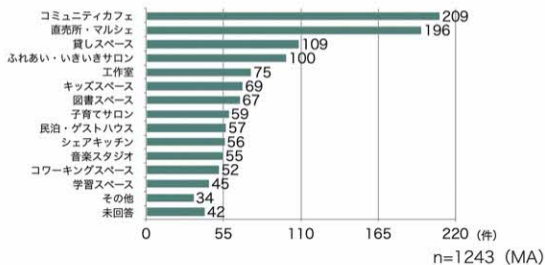
■交通手段



■目的



■地域の居場所として利用したい機能・サービス



アンケート調査の概要

調査期間：2021年8月23日から10月21日
調査の方法：ポスト投函・郵送回収・Googleフォーム

調査対象	配布戸数	回答数*	回収率
榎町商店街エリア	250世帯	57件	22.8%
本納エリア	250世帯	36件	14.4%
中の島エリア	700世帯	152件	約21.7%
駅近住宅エリア	800世帯	150件	約18.8%
緑ヶ丘エリア	1000世帯	241件	24.1%
合計	3000世帯	636件	21.2%

*1世帯につき2件の調査票を配布した。ここでは、世帯数ではなく回収した全調査票数とする。また、Googleフォームでの回答数を含む。



■その他の意見（抜粋）

榎町商店街を現状のままにしておくのは良くないと思っている方が大変多く、住民にとって必要な機能や空間は多岐に渡りました。昔のように賑わいのある商店街としての再生を望む声がある一方、現在の様子から商店街としての再生は難しいと感じている方も多く見受けられました。

交通

- ・榎町商店街の入り口付近に駐車場を作り、商店街の中は歩行者専用にするべきだと思う。
- ・商店街を活性化させるには茂原市内の住人が茂原駅近くに簡単に移動できる手段が必要。

住宅地化

- ・住宅地と商店が一体化した計画を計画すべきである。
- ・駅に近いことを生かして住宅街にするのが有利。

法整備

- ・固定資産税を上げて土地家屋の有効利用していない現在の所有者を追い出してから計画すべき。
- ・駅近くの店の税を安くする

魅力・活気

- ・再生するには、日本のどこでもやっていない商店街、街並みを作ること、また、人を集める魅力ある街にする。
- ・歴史ある商店街であるのでぜひ復活して欲しいが単なる商店の集合では大型商業施設にはかなわない。特徴のある商店と施設が存在する「散歩も楽しめる様な街」。

子育て

- ・他の地域の比べると茂原市は子供が遊ぶ公園や施設があまり充実していない。魅力的な遊具があったり子供が楽しめる場所が増えるといいのですが。
- ・全く面白くない（子供にとって）場所だと感じる。孫が来ても持て余す。

防災

- ・水害のない貴重な中心街である。都市計画の見直しを行い、都市機能を充実させるべき。
- ・幸い水害は無いので駅南側のお店の方々→東側へ引越すのも良い非難対策ではないかと思っている。

福祉

- ・榎町商店街を含めて駅周辺を再開発する。大学の誘致を考えてもらいたい。
- ・茂原市全体がスローライフ、旧市街はいわば廃墟の様、むしろ老人施設を集約して老人の集まる通りの様に特化、特徴、インパクトのある街全体計画にしないといけないと思う。

空き家等の地域の居場所としての活用事例調査

1. コミュニティカフェ

施設名 : ふじのきさん家
 住所 : 東京都墨田区東向島2丁目4-3
 運営組織 : NPO法人燃えない壊れないまち・すみだ支援隊
 営業日 : 水金曜日定食屋、火～土2階貸しスペース
 利用料金 : 定食500円、貸しスペース1,000～2,000円/h
 事業内容 : 地域の寄り合い処であるとともに、防災に関する啓発を行う拠点
 収入 : 新たな公共支援事業助成(内閣府・東京都生活文化局)
 リノベーション費用 : 改修費880万円(追加改修約120万円含む)
 工事費総額約1,200万円



2. コワーキングスペース

施設名 : COCOTOMO
 住所 : 群馬県桐生市本町5-51 東部桐生ビル
 運営組織 : NPO法人キッズバレイ
 営業日 : 年中無休(9:00-20:00)
 利用料金 : 定休日なし(不定休)10:00-17:00
 事業内容 : 「ともに学び、ともに働き、ともに未来をつくる」をコンセプトとするコワーキングスペース。市と連携して、様々な起業・創業支援の事業を実施
 収入 : 地域商業自立促進事業(経済産業省)、無償貸与(桐生市)
 リノベーション費用 : 詳細な費用不明



3. レンタルスペース

施設名 : 和みプラザ
 住所 : 徳島県名西郡石井町石井字石井266
 運営組織 : (一社)働く女性のサポートセンター Woman's heart
 営業日 : 不明
 利用料金 : 3,000円/回+入会金、年会費
 事業内容 : 古民家を改装した地域社会のプラットフォームで、使い方が自由な地域交流スペース。少人数のセミナーや展示会や物販など様々な用途で利用が可能。
 収入 : 利用料金、行政からの補助金
 リノベーション費用 : 500万円



4. 音楽スタジオ

施設名 : 音楽スタジオ・蔵
 住所 : 千葉県長生郡長南町本台142-1
 運営組織 : 株式会社こみん
 営業日 : 年中無休(9:00-20:00)
 利用料金 : 1日1組11,000円
 事業内容 : 静かな里山の集落の一角にある蔵を活用した音楽スタジオ。個人、バンド練習の場として活用が可能
 収入 : 利用料のみで、行政からの支援なし
 リノベーション費用 : 詳細な費用不明



5. シェアキッチン

施設名 : かめキッチン
 住所 : 東京都板橋区大山町40-5
 運営組織 : 株式会社ジェクトワン
 営業日 : 年中無休
 利用料金 : 平日昼2000円/h
 事業内容 : 長年の間地元の皆様に愛されてきた建物屋を活用した、次世代を担う人たちに使ってもらえるようなシェアキッチン
 収入 : キッチン利用料のみで、行政からの支援なし
 リノベーション費用 : 詳細な費用不明



6. 工作室

施設名 : 西千葉工作室
 住所 : 千葉県千葉市稲毛区緑町2-16-3 荻原ビル1階
 運営組織 : 株式会社マイキー
 営業日 : 木曜日定休
 利用料金 : スペース利用料3,000～5,000円
 事業内容 : ものづくりのためのスペースと道具をシェアするまちの工作室で、ものづくりを身近に感じてもらう場所
 収入 : 不明
 リノベーション費用 : スタッフ自らがリノベーションを行った
 詳細な費用不明



7. キッズスペース

施設名 : いいおかさんちであそぼ
 住所 : 東京都世田谷区玉川2丁目
 運営組織 : 所有者の飯岡さん、株式会社グラディエ、やなぎ教育グループとその他有志
 営業日 : 第2・第4日曜日 / 利用料金 : 無料
 事業内容 : 長年、保育に携わったオーナーが昔ながらの雰囲気のある自宅の一部を解放し、地域の子どもたちの見守りや子育ての場として利用されている
 収入 : 助成金5万円(区)と世田谷まちづくりファンド助成
 リノベーション費用 : 50万円程度



8. 学習スペース

施設名 : benten study place
 住所 : 群馬県前橋市千代田町3-4-2 弁天シェアハウス 1階
 運営組織 : 前橋工科大学、家具店STYLE、NPO法人リ・デザインマネジメント研究所、県住宅供給公社
 営業日 : 火曜日以外は中高生の塾として(料金はコース毎)、毎週火曜日と日中に中高生の学習スペースとして開放
 事業内容 : 前橋工科大学の生徒がシャッター街の進む商店街の空きビルを改装した、中高生のための学習スペース
 収入 : 桐生信用金庫「わがまち基金」助成金と学生の利用料
 リノベーション費用 : 40万円(クラウドファンディングより)



